

- 社会科 (歴史的分野)
- 単元名 明治維新と殖産興業 (3時間扱い)
- ねらい 明治政府が、西洋諸国に対抗するために、交通・通信の整備、模範工場の建設等を行うなど、産業を育成することにより国家の近代化を推進したことを理解する。

○殖産興業

1
時間目

【主な学習活動】

- ・資料を活用し、明治政府が、西洋諸国に対抗するために、殖産興業を推進したことを調べる。

【主な発問】

- ・明治政府は、なぜ、殖産興業を推し進めたのだろうか。

【指導上の留意事項】

- ・富国強兵政策との比較や、条約改正交渉についての資料を読み取ることを通して、産業の育成によって、国家の近代化を推進する必要があったことを理解させる。

○郷土ひろしまで行われた殖産興業

「郷土ひろしまの歴史Ⅱ」P.4～7を活用

2
時間目

【主な学習活動】

- ・宇品に新しい港が築かれた理由と、宇品港の完成によって、広島はどのように変化をしたのかを調べ、発表する。

【主な発問】

- ・千田貞暁は、なぜ宇品に新しい港を築いたのだろうか。
- ・宇品港の完成によって、広島はどのように変化したのだろうか。

【指導上の留意事項】

- ・宇品港が築かれる前と築かれた後の広島の産業の変化に着目して考えさせ、自分の言葉でまとめさせる。



- 千田貞暁は、宇品港を築くために、大変な努力を重ねたんだね。
- 宇品港が築かれる前と後とでは、広島の産業は大きく変化したんだね。
- 私たちが住む町では、産業の振興のために、どのようなことが行われたのだろうか。

○身近な地域の殖産興業

【主な学習活動】

- ・身近な地域の調査を通して、産業を育成するためにどのようなことが行われたかをまとめる。

【主な発問】

- ・明治時代に身近な地域で、産業の育成のために、どのようなことが行われたか、調べよう。

【指導上の留意事項】

- ・資料館やHP等を活用し、適切な資料を収集させる。